

●省エネ住宅

省エネ住宅とその基準

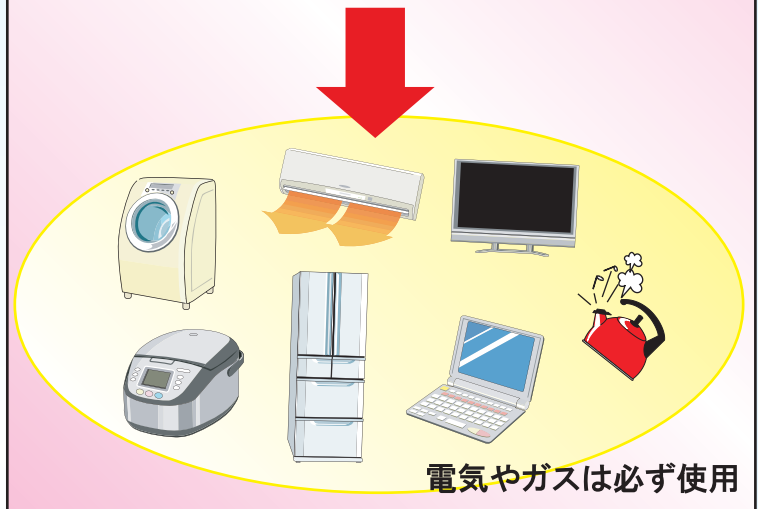
○省エネ住宅とは

住宅において使用されるエネルギーは、冷暖房、給湯、炊事、冷蔵庫、パソコン、テレビ等の家電製品など、実にいろいろなものがあります。

なかでも、その大半を占めているのが、冷暖房と給湯のためのエネルギーです。地球温暖化防止のためにも、この消費量を少なくするように、建設省(現国土交通省)では平成11年3月からこれまでの住宅の省エネルギー基準を改正して、新しい基準(次世代省エネルギー基準)を定めました。この基準に適うような、室内環境を一定に保ちながら、使用するエネルギー量を少なくできる住宅が、省エネルギー住宅とよばれるものです。

住宅購入後

住宅を購入生活していく中でさまざまなエネルギーを消費します。



○次世代省エネルギー基準とは

次世代省エネルギー基準(次世代省エネ基準)とは、平成11年3月に改正告示された「住宅に係わるエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断と基準」及び「同設計及び施工の指針」のことです。

この基準は、昭和55年に初めて適用され、平成4年に一度改正されたものですが、21世紀の住まい作り照準を合わせて、全面的に改正されました。

「次世代省エネ基準を満たす規定」

建築主の判断基準



設計、施工の指針



性能規定

仕様規定

次世代省エネ基準を満たす住まいを建てるにはどちらかの規定に従って建てる事になります。

住宅をたてる際に必要な2つの規定はこの通り。